

「障害のある方への配慮として良いと思った事例」

No.	カテゴリー	分野	事例
1	障害者や障害に対する理解に関する配慮	暮らし	電話しかないところへ福祉課が代わりに電話して下さるのは大変助かります。有難いです。
2		雇用	健常者に混ざって知的障がい者が数名働いている、とある職場では、重要なお知らせや注意喚起、業務の流れや職場のルールなどが比較的大きな文字で振り仮名を振ってあり、見ただけで理解が促されるような写真や画像を多く使って、職場のあらゆる場所に掲示してありました。通常の掲示物と同じように至るところにこのような配慮のある掲示物が張られていることは素晴らしいと思います。
3		その他	・手伝ってくれる人はいるが、必要がない時に声をかけてくる。その時は必要がなく断るが、いつでも声を掛けて欲しい。 ・一般の人と交流できる場所があるといいと思う。
4		その他	幻聴などがある精神の方は耳の敏感な人が多いようです。自立して地域に住むと、かすかな足音にも反応して不安で一杯になります。で、交番の方に事情を話、見廻りをひんぱんにしてくれるよう頼みに行きました。幻聴でもいいので連絡くださいとの対応でした。嬉しかったです。
5	ハードや設備に関する配慮	暮らし	助かったこと: 小学校入学に向けて、教育研究所及び小学校とも何度も打ち合わせをする機会を設けてくださり、とても感謝しています。 配慮してほしいこと: 全障害者トイレに折りたたみ式のベッド、もしくは着替えボードがほしいです。常時オムツですが、トイレでもズボンの脱ぎ着が大変です。また、障害者トイレに石鹸がないことがあり、医療器具などを扱うことが多い場所こそ、手をよく洗いたいで、石鹸がほしいです。
6		雇用	障害者への配慮があるとすれば病院の駐車場で優先に入口に近いところに車を止めさせてもらえることぐらいしかない。生活上その他は全く実感ないです。
7		施設	あるショッピング施設はトイレに大人用のベッドがあるのでオムツ替えが出来ていいです。駐車場もゲート付きの車イス専用があり、とても親切だと思います。売り場も広いので車イスでも行きやすいです。
8		施設	身体障害者の利用者様からよく聞くご要望です。オムツ交換をするときに大人の身体障害者のオムツ交換をするためのベッドがある施設が少ないと聞いています。松戸市付近では2カ所くらいしかないと嘆いていました。公共の施設に身体障害者用のベッドがあると身体障害者の方も外出することがしやすくなるのではないかと思います。
9		交通	電気自動車は確かにエコの効果はありますが、エンジン音が静かで近づいてくことに気付かず、クラクションを鳴らされると驚くことが多い。(脳性マヒの方には不安は残る。)
10		交通	エレベーターの設置が進み、便利になった。(エスカレーターの際は変な目で見られることがあったので)
11		交通	連絡ミスが減り、駅員さんの対応もずいぶん改善されている。ただし、駅によって差がある。エレベーターが狭いので、新規設置では広くて前開きのタイプを設置して欲しい。

No.	カテゴリー	分野	事例
12	福祉 社にサ ー関す るス配 慮	暮らし	お出かけの際、動植物園など受給者証では認めてもらえなかった ので、受給者証でも入れると便利。
13		交通	学校のお迎え時(ディサービス)駐停車用のカードがあるといいで す。お迎えのときに駐禁をとられていた事業所がありました。
14		交通	精神障害者もJR、私鉄料金を割引にしてほしい。バスは半額なの で助かる。
15		交通	バス運賃半額。通院でお金がかかるので他の場面で負担が減る のは嬉しい。
16	その他	暮らし	障害者でも知的や発達、精神の様にわかりにくい(一見障害者に 見えない)方が多く居ます。そういう方は詐欺などの対象にされや すい事は高齢者と同じです。民生委員や町会などの地域で高齢者 と同様の見守り体制があればいいと思います。
17		教育・施設	発声も発語もない児童を障害と決めればそれを前提とした支援が 始まり、言語療法士ですら発語を教えません。発語が遅れている だけとすれば発語するように積極的に言葉を教え発語する事を目 指して努力します。0歳から5歳までの児童がこの期間にあり、対応 の仕方次第で様変わりします。5・6歳まで発語を促す対応をしない 無責任は「5歳くらいまで話さなくとも心配しないですね」の言葉で す。6歳でも話せなかったら誰が責任を持てるのでしょうか。これは全 く配慮がなさ過ぎます。何もしない事がその児童を発達障害・発語 困難・多動・吃音にってしまったらどうするのでしょうか。 最重度の言語障害の青年は30歳まで適切な支援が当然であるか のごとくありませんでした。しかし、その青年が有効な支援を受け ると2年もしないうちに明瞭な声でようになり、電話で会話するよ うになったのです。話が出来なかった30年の教育放棄という責任は 誰がとるのでしょう。それと無責任が生んだ差別。会話出来るよ うに支援した方の努力と手法を大胆に取り入れることが本当に差別 の問題に取り組む姿勢だと思います。
18		教育・施設	声が出したくても出し方が分からない児童・青年に声を出す方法を 教えてあげればその児童・青年は差別を受けなくてもいいのでは!? 支援施設でそうした取り組みが実施されているのを見たことがな い。声を出す機能自体に大きな問題(声帯がないかそれと同等の 障害等々)が無い限り、家庭教育・社会教育・学校教育が連携して 発語・会話によるコミュニケーションを促進すべき、そうすれば障害 を理由とする差別が大幅に改善するはず、それを出来ない口実を 並べてしない事は携わる者の無責任による重大な差別。 多動・自傷・吃音・学習障害等々に悩む児童・青年とその家族を沢 山見てきたが会話支援でしゃべれるようになると大幅に改善した。 出来る方法があるのに学校で習わないから知らないからと責任逃 れするのは障害を理由に教育放棄という差別ではないかと考えて います。松戸市はこの課題に真っ向から取り組み全国で障害に対 応する最先端を進んでほしい。話せるようになったときの感動は素 晴らしいものがありますよ。
19		教育・施設	障害児の特性と個性を見極めて多動・自傷・吃音・発達障害・自閉 症を改善させる「発声療育」があります。
20		教育・施設	旧来の教育・支援方法には無い方法が行われているので実効性 の無い研修より、現場で体験研修をすることが良いと思います。実 施施設は千葉県に多数あります。独立法人医療機構の助成事業 にも関係事例がありましたので調べてみてはいかがでしょうか。

No.	カテゴリー	分野	事例
21	その他	教育・施設	重度の障害者更生施設(入所)でもその方法でおくのほそ道の朗読を市の敬老会や様々な行事でも行っていますよ。
22		交通	作業所からバスで帰る途中で車イスの人が乗ってくるのだが、乗客はおろかバスの運転手にさえ「すみません」や「ありがとう」の声をかけず。終始むすっとした表情でしてもらって当たり前という感じで乗って来る。生まれの不幸は分からなくないが、せめてバスの運転手だけでも「ありがとう」と言うべきだ。
23		意思表示	妊娠マークのキーホルダーがあるように、「私は精神障害者です」と周りからわかってもらえるマークを作り、キーホルダーにしたり、インターネット(特にSNS)のプロフィール画面に表示してほしい。理由:精神障害は目に見えないから。普通の人には平気でも障害者はちょっとした悪口でもパニックになるから。